

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

国際委員会及び中小企業委員会共催講演会開催

国際委員会及び中小企業委員会共催の講演会が 2 月 17 日 (水) 16:00~17:00 の間、JC ビルのマリンルーム大会議室で開催されました。今回は、経済産業省通商政策局経済連携課の柏原直明総括課長補佐をお招きし、「環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定の概要」のテーマでご講演いただきました。

はじめに十萬幹雄中小企業委員会委員長の挨拶と講師の略歴紹介があり、その後講演に入りました

講演の内容は、

- ・ TPP について
- ・ TPP 協定を活用した中堅・中小企業等の市場開拓について



講演会会場

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

国際・中小共催講演会の開催・・・・・・・・・・1	標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・3
委員会開催・活動状況	技術調査事業・・・・・・・・・・4
需要対策事業・・・・・・・・・・2	中小企業関連事業／その他事業・・・・・・・・6
国際交流事業・・・・・・・・・・2	会員ニュース・・・・・・・・・・6
標準化事業／ISO 対策事業・・・・・・・・2	統計資料・・・・・・・・・・13

(一社) 日本フルードパワー工業会

- ・環太平洋パートナーシップ協定（TPP 協定）における工業製品関税（経済産業省関連分）に関する大筋合意結果
- ・環太平洋パートナーシップ協定（TPP 協定）の概要
- ・TPP 協定の全章概要（別添・附属書等）

以上の各テーマごとに詳細な解説が行われ、その後、質疑応答を行い終了しました。

講演終了後、澤田敬之国際委員会委員長の閉会の挨拶その後の場所を変えての名刺交換会には約 25 名の方が参加し交流を深めていました。

なお、当日使用した資料は当会 HP に掲載しておりますのでご利用ください。

(<http://www.jfpa.biz/enterprise/seminar/>)

委員会開催・活動状況報告
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
需要対策事業  
~~~~~

平成 28 年度建設機械需要見通し発表される
(一社) 日本建設機械工業会は平成 28 年 2 月 25 日(木)に平成 28 年度建設機械需要見通しを発表しました。発表によれば、平成 27 年度の建設機械の出荷見込は、内需は油圧ショベルの落ち込みから前年度比 2%減、外需は資源開発国向けや中国向け等の落ち込みが大きく前年度比 11%減となり、内外需総合では前年度比 7%減の 1 兆 9932 億円に留まり 2 年連続の減少と見込んでいます。一方、平成 28 年度は、内需は震災復興や官民による建設投資による需要が期待されるが、小型エンジンを搭載した一部機種で反動減が予想され前年度比 3%減、外需は北米市場に底堅さが見られるが、その他地域の回復が下期以降と見込んでいます。このため内外需総合では前年度比 2%減の 1 兆 9568 億円と予測しております。
(本月報 10・11 頁をご参照ください)

平成 28 年度産業機械需要見通し発表される
(一社) 日本産業機械工業会は平成 28 年 2 月 29 日(月)平成 28 年度産業機械需要見通しを発表しました。発表によれば平成 27 年度の産業機械の出荷見込みは、内需が前年度比 3.5%増、外需は前年度の大規模案件受注の反動減から前年度比 28%減となり、内外需総合では前年度比 9.8%減の 5 兆 4773 億円と 2 年振りの減少見込んでいます。一方、平成 28 年度は、

内需は老朽設備の更新や省エネ・省力化投資の拡大、また、TPP 協定の大筋合意に伴う国際競争力強化に向けた投資等も期待できることから前年度比 3.1%増、外需は新興国経済の先行きに不安要素があるものの石油化学や金属精錬等下流分野で動きがあり、さらに新興諸国の社会インフラ整備、アジアにおけるメガ FTA 協定の枠組み作りが進展しておりこの地域の投資拡大が見込まれることから前年度比 7.4%増と見込んでいますこのため内外需総合では前年度比 4.6%増の 5 兆 7289 億円と予測しております。
(本月報 12 頁をご参照ください)

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

国際・中小企業委員会共催講演会
日 時 2 月 17 日(水) 16:00 ~ 17:00
場 所 JC ビル B-1 マリンルーム会議室
出席者 十万委員長以下 35 名
事務局 藤原、鎌原、堀江
議 事
(1 頁及び 2 頁参照)

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

空気圧調質機器分科会
日 時 2 月 19 日(金) 13:30 ~ 16:50
場 所 機械振興会館 1-5 会議室
出席者 小田主査以下 5 名
事務局 千葉
議 事
前回議事録確認後、サイレンサ ISO 規格のフランス案に対抗するため、サイレンサの騒音試験結果の評価について検討し、追加試験項目を決めた。
投票にかかっている定期見直し ISO 10094-1 及び -2 について検討した。

JIS B 8372-1 の改正案について審議した。
次回開催: 3 月 31 日(木) 機振会館 1-5 会議室

* ISO の動き
投票に付されている ISO 規格案
(TC131)
DIS 6605 Hydraulic fluid power — Test methods for hoses and hose assemblies

FDIS 3601-2 Fluid power systems -- O-rings -- Part 2: Housing dimensions for general applications

発行された ISO 規格案
(TC131)

ISO 15171-2:2016 Connections for fluid power and general use -- Hydraulic couplings for diagnostic purposes -- Part 2: Coupling with M16 x 2 end for connection under pressure

~~~~~

標準化事業／規格事業

~~~~~

JIS 原案作成本委員会

日 時 2月3日(水) 14:00 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 北川委員長, 香川委員長以下 15 名

事務局 千葉

議 事

北川委員長(東工大名誉教授)の開会挨拶の後、次の JIS 原案の審議に入った。

① JIS B 8395 油圧・空気圧システム及び機器—シリンダー往復動用ワイパリング—寸法及び許容差引き続き、香川委員長の進行で次の JIS 原案の審議に入った。

② 空気圧用継手—ポート及び継手端部

各原案について各委員からの指摘事項を修正し、

①については規格協会に提出、②については委員に修正案を配布し、書面審議後、規格協会へ提出することとした。

流量測定分科会

日 時 2月4日(木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 妹尾主査以下 11 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、妹尾主査より、ISO 6358-1 流量特性試験方法の経済産業省の機械要素技術専門委員会における審議結果の報告があった。

続いて次年度に制定を予定している ISO 6358-2 流量特性試験方法の代替試験方法の JIS 原案の継続審議に入った。

次回開催: 4月7日(木) 機振会館 6-61 会議室

空気圧システム分科会

日 時 2月5日(金) 13:00 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 張主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、改訂版リスク低減に関するガイドブック(JIS B 8370:2013 準拠)案について継続審議した。

次回開催: 3月29日(火) 機振会館 1-5 会議室

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 2月18日(木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 嵯峨主査以下 5 名

事務局 千葉

議 事

議事録確認後、空気圧用ポートねじの規格 ISO 16030 の JIS 原案について、JIS 原案作成本委員会の指摘事項を踏まえ、審議修正を行った。

最後に、次年度の計画について検討した。

次回開催: 5月12日(木) 機振会館 1-5 会議室

エアドライヤ分科会

日 時 2月19日(金) 14:30 ~ 16:50

場 所 工業会会議室

出席者 那須主査以下 3 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録の確認後、投票にかかっている定期見直し ISO 7183:2007 について検討・審議し、内容を確認した。

続いて、工業会規格として検討中の「エアドライヤの選定及び使用指針」について、配布資料案をもとに審議した。

次回開催: 7月22日(金) 工業会会議室

空気圧コンタミ分科会

日 時 2月19日(金) 15:30 ~ 16:50

場 所 機械振興会館 1-4 会議室

出席者 三浦主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、次年度の活動計画について検討した。

続いて、JAPS 006 空気圧機器及びシステムの汚染管理指針の改正案を審議した。

次回開催：5月29日(金)機振会館1-5会議室

空気圧バルブ分科会

日時 2月25日(木) 13:30～16:00

場所 機械振興会館1-5会議室

出席者 河野委員以下5名

事務局 千葉

議事

前回議事録確認後、最低作動圧力の確認方法について、米国より解説文書が届いたので詳細を確認した。続いて、JIS B 8376 空気圧用速度制御弁について見直し検討を行った。性能試験条件に付いて各社現状調査を行う。

最後に、次年度の活動日を決めた。

次回開催：4月28日(木)機振会館1-5会議室

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会

日時 2月1日(月) 13:00～19:00

場所 KYB(株) 岐阜北工場

出席者 伊藤和巳部会長以下9名

事務局 大橋

油圧部会の第2回目となる工場見学会はKYB(株)殿のご厚意により、岐阜北工場を訪問・見学させていただいた。当工場は、オートモーティブコンポーネツ事業本部の主力製品である、自動車用ショックアブソーバとパワステの量産工場であり、生産数は油圧のコンポーネントと比較して桁違いに多い。参加者一同驚きをもって、生産体制と現場の仕組みなどに注目していた。見学後、3班に分かれてのグループ討議と発表からもそれらがうかがえた。



グループ討議の状況

終了後の懇親会では、喉を潤しながら歓談し、より一層の懇親を深めた。

これらの総括は、機関誌「フルードパワー」夏号に記事として掲載する予定である。

ADS 国際標準化推進委員会(第5回)

開催日 2月2日(火)

場所 機械振興会館6-65会議室

出席者 山口委員長以下15名

事務局 藤原、唯根、大橋

議事

山口委員長の挨拶の後、議事に移った。

1. WG別実施内容発表と審議

大学側から、配布資料及び説明用画像を基に、水圧源をはじめとする実験設備の設置状況、各実施内容のその後の検討事項を説明し、意見交換、設備上の課題事項の詰めなどを行った。

2. 海外調査報告

11月16日から、宮川幹事、近藤社長、唯根課長代理の3名の欧州調査団が海外調査を行った。結果の概要を、宮川幹事より画像資料を基に報告があった。

英国及びドイツの2企業、1団体を訪問し、日本のADS現況のプレゼンテーションと打合せを行った結果、欧州での取り組みが2グループに分類できること、及びその方向性などが説明された。

3. その他

眞田委員から、JFPS国際シンポジウム(2017/10、於福岡)のパンフレット最新版が配布された。

藤原専務から、前回説明した「用語」に関して、ADSとして設定すべき用語、キーワードなどの具体案を事務局宛に提出するよう要望があった。

年明けに委員長と幹事が、実験設備、実験内容の確認のため、各大学を訪問する意向が示され、日程調整を行うこととなった。

なお、委員会終了後、藤原専務より資料を基に、企業側委員を主体とする新たな委員会活動の提言があり、社内での検討と回答が要請された。

次回開催：5月末の予定

ADS 国際標準化推進委員会実験実施5 大学訪問

1) 訪問先

第5回2月16日 足利工業大学・桜井康雄教授

2) 訪問者

山口 惇 委員長

宮川新平 幹事

藤原達也 総括

千葉 誠 第2技術部長

3) 訪問概要

ADS 国際標準化の基礎データを得るための実施内容WG-A「配管・継手と流速」について、進捗と懸案事項の確認・対策、及び来年度以降の予定と進め方などについて、打合せを行った

技術委員会 水圧部会（平 27 年度第 5 回）
日時 2 月 17 日（水）14：00 ～ 17：00
場所 機械振興会館 B3-3 会議室
出席者 宮川部会長以下 8 名
事務局 大橋
議 事

1. HP 及びブログ

村田・鳥居委員から、ブログ掲載状況とアクセス解析結果、特に、例えば福祉機器展など ADS 関連イベントの紹介時などに検索回数の増加があるとの説明があった。

HP の改善提案が示され、来年度以降の啓蒙・広報活動の柱として HP 改定に取り組みこととした。来年度以降、予算化することを確認した。

2. 今後の活動について意見交換

1. 項の延長上で、IFPEX2017 出展の基本方針と概略日程の確認を行った。併せて関連見本市への見学方法と問題点について意見交換を行った。

3. 報告、市場情報等

ADS 国際標準化推進委員会関連の仕様調査WGが企業側委員による会議体として発足することと水圧部会の役割について報告した。また、60 周年記念デジタルブック制作・機関誌特集号の進捗状況を報告した。

次回開催：平成 28 年 5 月下旬以降を予定

技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会
日 時 2 月 23 日（火）13：30 ～ 19：00
場 所 機械振興会館 6-61 会議室
出席者 土井高司部会長以下 12 名
事務局 藤原、千葉、大橋
議 事

自己紹介及び土井部会長からの開会の挨拶及び講演題目、講師の略歴紹介の後、議事に入った。

第 1 部は、東京医科歯科大学・川嶋健嗣教授、東京工業大学・只野耕太郎准教を講師にお招きして、演題「空気圧とロボット」の講演を行った。まず、川嶋先生から、恩師である香川先生との出会い、研究歴、空気圧駆動の特徴、医療用ロボットにとって欠かさない空気圧のバックドライバビリティ特性、ベンチャー企業の設立、など多岐に亘る話題に関して、語りかけるように分かり易い説明があった。続いて只野先生から、開発経緯や、操作面から見た空気圧ロボットの特徴など、実体験の説明があった。

開発過程の苦しみや活路の見出し方は、若手技術者にとって大変貴重な話題であり興味深く聞き入っていた。先生からは、将来の中堅開発技術者に対す

るエールが送られ、国産高性能空気圧サーボ弁の開発・商品化に対する強い要望が述べられた。



左：川嶋健嗣教授 右：只野耕太郎准教

第 2 部は若手技術者の作文を披露・発表体験をする場とした。テーマは、11 月に実施した日産追浜工場の見学会の感想のほか、業務体験を中心に、空気圧技術者としての抱負など。約 10 分間に各自上手に意見や期待を述べていた。若手同士、講師、部会長、事務局から、それぞれに質問がなされた。

第 3 部は、若手 6 名に加え、講師お二人、専務、学会事務局長の老若 13 名で密に懇親を深めた。

この結果は、報告記事として「フルードパワー」誌夏号 Vol. 30, No. 3 に掲載する予定である。なお、ベンチャー企業の話題については、Vol. 29, No. 3「文部科学省 START 事業と手術支援ロボット」として掲載済みなので、参照されたい。

技術委員会空気圧部会第 520 回特許分科会
日 時 2 月 26 日（金）13：00 ～ 17：00
場 所 名古屋国際センター 第 4 会議室
出席者 甲山幹事以下 6 名
事務局 吉田
議 事

前回議事録確認後、公報の検討と無効審判請求について審議した。1 件については引き続き審査過程を観察することとした。1 件については見解書を依頼することとした。異議申立書が提出されている件について今後の対応について確認した。1 件については引き続き調査を継続することとした。

委員交代があり伊東委員の後任に栗盛委員が就任した。

次回開催：3 月 25 日（金）機振会館 6-61 会議室

~~~~~  
中小企業関連事業／その他事業  
~~~~~

中小企業・国際委員会共催講演会
日 時 2 月 17 日（水）16：00 ～ 17：00

場 所 JC ビルB-1 マリンルーム会議室
出席者 十万委員長以下 35 名
事務局 藤原、鎌原、堀江
議 事
(1 頁及び 2 頁参照)

中小企業委員会
日 時 2 月 17 日 (水) 15:20 ~ 15:45
場 所 JC ビルB-1 マリンルーム会議室
出席者 十万委員長以下 23 名
事務局 藤原、鎌原、堀江
議 事
国際・中小企業共催講演会の前に中小企業委員会を開催し、各社の情況報告と事務局からは平成 28 年度の会合日程案、各種景気動向指標、中国情報、連絡事項を説明した。
個別には中小企業委員会の前に、3 月 2 日~6 日のベトナム視察団 (中小・次世代) 及び、WG の平成 28 年度研修視察について打合せを開催した。
次回開催: 4 月 6 日 (水) 機振会館 会議室

次世代経営者の会
日 時 2 月 24 日 (水) 13:30 ~ 17:00
場 所 JAL 羽田整備場及び上島熱処理工業所
出席者 澤田委員以下 4 名
事務局 藤原、唯根
議 事
第 5 回「次世代の経営を考える会」を開催した。今回は羽田空港内にある「JAL 羽田整備場」と大田区内にある「上島熱処理工業所」の 2 か所の見学視察を行った。
JAL 羽田整備場は一般募集されているコースに参加し、社歴及び空港歴史・設備の説明後、整備工場をコースに従い見学した。
上島熱処理工業所では、上島秀美社長みずから案内頂き、「ソルトバス」・「真空炉」2 種の熱処理法を見学した。製品の目視チェック・矯正等に長年の経験が必要の為、名工と若手のマンツーマンで処理に当たっており、技能継承・人材育成に力を入れていることが分かった。現在の工場は拡張及び納期の向上の為、50 年程前に川崎市から大田区へ移転している。厚生労働大臣賞を受賞した名工は 4 名在籍しているが、皆高齢となっており工場の環境が変わるようであれば引退する等の問題がある。技能継承・人材育成の難しさ等の話を伺った。また、新規事業の展開については、専門他社を引退した後も意欲のある高齢者を雇用し、最短適切に展開してきている

ようである。

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆社長の交代
(正会員)
日本アキュムレータ (株) から社長交代の連絡がありましたのでお知らせします。
平成 28 年 2 月 12 日付
日本アキュムレータ株式会社
(新 任)
代表取締役社長 杉村 登夢
(昇 任)
代表取締役会長 杉村 宣行

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

*平成 28 年
☆ 3 月 7 日 (月) 技術講演会
(場 所) 機振会館
☆ 3 月 30 日 (水) 第 24 回政策委員会
(場 所) 当会会議室
☆ 4 月 15 日 (金) 第 77 回理事会
(場 所) ザ・プリンスさくらタワー
(高輪)
2F「コンファレンスフロア」
☆ 5 月 19 日 (木) 平成 28 年度 (第 17 回)
定時総会及び 60 周年記念式典
(場 所) 品川プリンスホテル
メインタワー 2 4 F
☆ 5 月 19 日 (木) 総会後及び 60 周年記念懇親会
(場 所) 品川プリンスホテル
アネックスタワー 5 F
プリンスホール 7 ~ 9
☆ 5 月 20 日 (金) 第 55 回 JFPA 懇親ゴルフ会
(場 所) 程土ヶ谷カントリー倶楽部
9:12 スタート OUT・IN 各 3 組

~~~~~  
2 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~


(国際交流及び中小企業委員会共催事業)

TPP 協定の概要に関する講演会

開催日 2月17日(水)

委員長 澤田敬之(タイヨーインタナショナル)

〃 十万幹雄(神威産業)

参加者 北畠多門(SMC)

〃 山本将人(オックスジャッキ)

〃 桐生邦彦(オックスジャッキ)

〃 花岡隆司(神威産業)

〃 大前 聡(KYB)

〃 高野和治(光陽精機)

〃 原沢直季(コガネイ)

〃 建部大介(三光製作所)

〃 斎藤博之(三輪精機)

〃 甲山登紀夫(CKD)

〃 向 恭男(大生工業)

〃 廣井正夫(大生工業)

〃 森田勇一(大生工業)

〃 新木 徹(大生工業)

〃 小西正幸(TAIYO)

〃 澤田啓支朗(タイヨーインタナショナル)

〃 松岡 勉(タカコ)

〃 石本勝裕(東京計器)

〃 吉富英明(南武)

〃 杉村登夢(日本アキュムレータ)

〃 風間英朗(日本アキュムレータ)

〃 岸上宜憲(日本オイルポンプ)

〃 廣瀬一輝(廣瀬バルブ工業)

〃 小野慎一(廣瀬バルブ工業)

〃 杉崎秀之(廣瀬バルブ工業)

〃 福田賢二(堀内機械)

〃 増田堅太郎(増田製作所)

〃 松井正彦(マツイ)

〃 松井源太郎(マツイ)

〃 三尾行康(三尾製作所)

〃 西田昌弘(三菱電線工業)

〃 泉 陽一(妙徳)

〃 吉田隆太(妙徳)

〃 森吉正孝(油研工業)

〃 中嶋 匡(METI)

(標準化事業/ISO 対策事業)

空気圧調質機器分科会

開催日 2月19日(金)

出席者

主 査 小田敏裕(甲南電機)

委 員 三村 岳(SMC)

〃 土岐真人(コガネイ)

〃 田中尚志(CKD)

〃 高橋隆道(甲南電機)

(標準化事業/規格事業)

JIS 原案作成本委員会

開催日 2月3日(水)

出席者

委員長 北川 能(東京工業大学)

〃 香川利春(東京工業大学)

委 員 服部嘉博(経済産業省)

〃 古田 豊(日本規格協会)

〃 高橋正和(日立建機)

〃 菊地治彦(東芝機械)

〃 長谷川務(トヨタ自動車)

〃 原口秀夫(パナソニック)

〃 川口 葵(阪上製作所)

〃 太田正貴(阪上製作所)

〃 南 暢(日本バルカー工業)

〃 方波見栄次(荒井製作所)

〃 嵯峨秀一(ニッタ)

〃 大場良太郎(コガネイ)

〃 細谷映之(アオイ)

(標準化事業/規格事業)

流量測定分科会

開催日 12月4日(木)

出席者

主 査 妹尾 満(SMC)

委 員 高橋浩爾(上智大学)

〃 香川利春(東京工業大学)

〃 眞田一志(横浜国立大学)

〃 若原洋行(TAIYO)

〃 長井敏和(CKD)

〃 豊島隆博(TAIYO)

〃 八手又秀浩(日本ピスコ)

〃 進藤克己(クロダニューマティクス)

〃 張 護平(SMC)

〃 齊藤 悠(コガネイ)

空気圧システム分科会

開催日 2月5日(金)

出席者

主 査 張 護平(SMC)

委 員 神戸孝典(甲南電機)

〃 増尾秀三(CKD)

〃 加藤猛美(コガネイ)

- 〃 上間丈司 (クロダニューマティクス)
- 〃 田中和彦 (TAIYO)

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 2月18日(木)

出席者

- 主査 嵯峨秀一 (ニッタ)
- 委員 條 茂幸 (SMC)
- 〃 大場良太郎 (コガネイ)
- 〃 細谷映之 (アオイ)
- 〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

エアドライヤ分科会

開催日 2月19日(金)

出席者

- 主査 那須一文 (SMC)
- 委員 間瀬達夫 (CKD)
- 〃 竹内則久 (オリオン機械)

空気圧コンタミ分科会

開催日 2月19日(金)

出席者

- 主査 三浦孝夫 (アトラスコプロ)
- 委員 大嶽康行 (CKD)
- 〃 梶田充隆 (コガネイ)
- 〃 高橋隆通 (甲南電機)
- 〃 永井祐文 (オリオン機械)
- 〃 中塚博士 (SMC)

空気圧バルブ分科会

開催日 2月25日(木)

出席者

- 主査 ——
- 委員 河野喜之 (甲南電機)
- 〃 石毛浩二 (クロダニューマティクス)
- 〃 中古 弘 (TAIYO)
- 〃 夏目清辰 (CKD)
- 〃 丸山哲郎 (SMC)

(技術調査事業)

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会

開催日 2月1日(月)

出席者

- 部会長 伊藤和巳 (KYB)
- 参加者 小川 睦 (KYB)
- 〃 池本貴正 (ダイキン工業)
- 〃 岸 祐哉 (ダイキン工業)
- 〃 伊原知幸 (東京計器)

- 〃 豊田拓也 (東京計器)
- 〃 廣井一矢 (日立建機)
- 〃 浅尾幸良 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 宮本奈央也 (ボッシュ・レックスロス)
- 〃 大古 潤 (油研工業)

ADS 国際標準化推進委員会 (第5回)

開催日 2月2日(火)

出席者

- 幹事 宮川新平 (KYB)
- 委員 眞田一志 (横浜国立大学)
- 〃 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)
- 〃 飯尾昭一郎 (信州大学)
- 〃 鈴木健児 (神奈川大学)
- 〃 桜井康雄 (足利工業大学)
- 〃 吉田太志 (KYB)
- 〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)
- 〃 村田秀紀 (阪上製作所)
- 〃 鳥居良介 (阪上製作所)
- 〃 齊藤理人 (日本アキュムレータ)
- 〃 仙田雅晃 (廣瀬バルブ工業)

オブザーバー 服部嘉博 (経済産業省)

オブザーバー 小松康弘 (野村総合研究所)

オブザーバー 近藤千奈美 (コンテックス)

技術委員会水圧部会

開催日 2月17日(水)

出席者

- 部会長 宮川新平 (KYB)
- 委員 大林義博 (KYB)
- 〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 村田秀紀 (阪上製作所)
- 〃 鳥居良介 (阪上製作所)
- 〃 細井耕平 (堀内機械)
- 〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会

開催日 2月23日(火)

出席者

- 部会長 土井高司 (コガネイ)
- 講師 川嶋健嗣 (東京医科歯科大学)
- 講師 只野耕太郎 (東京工業大学)
- オブザーバー 藤谷秀次 (学会(JFPS)事務局長)
- 参加者 片山真一 (SMC)
- 〃 坂上堅太郎 (SMC)
- 〃 増井 喬 (SMC)

- // 榎本真之 (SMC)
- // 宮崎光照 (クロダニューマティクス)
- // 藤原孝俊 (甲南電機)
- // 藤原俊介 (コガネイ)
- // 三村真毅 (コガネイ)
- // 蔦木貴哉 (コガネイ)
- // 須山裕次 (CKD)
- // 若杉論 (CKD)

- 開催日 2月24日(水)
- 出席者
- 委員 澤田啓支朗 (タイヨーインタナショナル)
- // 小野慎一 (廣瀬バルブ工業)
- // 西川治子 (理研精機)
- オブザーバー 近藤千奈美 (コンテックス)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<2月>

- 2日(火)
 - ・技術(委) ADS 国際標準化促進委員会
- 3日(水)
 - ・JIS 原案作成本委員会
- 4日(木)
 - ・標準化(委) 流量測定分科会
- 5日(金)
 - ・標準化(委) 空気圧システム分科会
- 16日(火)
 - ・技術(委) ADS 国際標準 足利工業大学訪問
- 17日(水)
 - ・技術(委) 水圧部会
 - ・中小企業(委)
 - ・国際・中小企業委員会共催講演会
- 18日(木)
 - ・ISO(委) 空気圧継手・チューブ分科会
- 19日(金)
 - ・ISO(委) 空気圧調質機器分科会
 - ・標準化(委) 空気圧エアドライヤ分科会
 - ・ISO(委)・標準化(委) 空気圧コンタミ分科会
- 23日(火)
 - ・技術(委) 空気圧部会若手技術者懇談会
- 24日(水)
 - ・中小企業(委) 次世代経営者の会
- 25日(木)
 - ・ISO・標準化(委) 空気圧バルブ分科会
- 26日(金)
 - ・技術(委) 空気圧部会第520回特許分科会

技術委員会空気圧部会第520回特許分科会

開催日 2月26日(金)

出席者

- 幹事 甲山登紀夫 (CKD)
- 委員 栗盛 宏樹 (アズビル TACO)
- // 井野 雅康 (SMC)
- // 出澤 大 (クロダニューマティクス)
- // 赤松直人 (甲南電機)
- // 佐藤 浩 (コガネイ)

(中小企業関連/その他)

中小企業委員会 (含. WG・ベトナム視察団)

開催日 2月17日(水)

委員長 十万幹雄 (神威産業)

副委員長 松井正彦 (マツイ)

- 委員 山本將人 (オックスジャッキ)
- // 桐生邦彦 (オックスジャッキ)
- // 花岡隆司 (神威産業)
- // 高野和治 (光陽精機)
- // 向 恭男 (大生工業)
- // 廣井正夫 (大生工業)
- // 森田勇一 (大生工業)
- // 澤田敬之 (タイヨーインタナショナル)
- // 澤田啓支朗 (タイヨーインタナショナル)
- // 吉富英明 (南武)
- // 杉村登夢 (日本アキュムレータ)
- // 風間英朗 (日本アキュムレータ)
- // 岸上宜憲 (日本オイルポンプ)
- // 廣瀬一輝 (廣瀬バルブ工業)
- // 小野慎一 (廣瀬バルブ工業)
- // 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)
- // 福田賢二 (堀内機械)
- // 増田堅太郎 (増田製作所)
- // 松井正彦 (マツイ)
- // 松井源太郎 (マツイ)
- // 三尾行康 (三尾製作所)

中小企業委員会次世代経営者会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
